


CASBEE® 戸建-新築


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築(2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

| 1-1 建物概要 | | | 1-2 外観 | | |
|------------|--------------------|----|---|---------------------------|---------------|
| 建物名称 | (仮称)晴美台2号地 | | 仕様等の確定状況 | 建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様 | 確定 仮 確定 |
| 竣工年月 | 2012年3月 | 予定 | <備考> | | |
| 建設地 | 大阪府堺市南区晴美台1丁38番32 | | | | |
| 用途地域 | 第1種中高層住居専用地域 | 確定 | 評価の実施日 | 2012年11月15日 | |
| 省エネルギー地域区分 | IV | | 作成者 | 羽賀 匠 | |
| 構造・構法 | 鉄骨造 | 確定 | 確認日 | | |
| 階数 | 2階建て | | 確認者 | | |
| 敷地面積 | 188 m ² | 確定 |  | | |
| 建築面積 | 66 m ² | 確定 | | | |
| 延床面積 | 117 m ² | 確定 | | | |
| 世帯人数 | 4 | 確定 | | | |
| | | | | | |

2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)



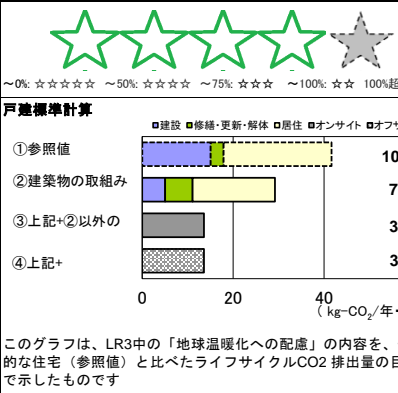
環境品質 G

環境負荷 L

BEE=1.0

3.1

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

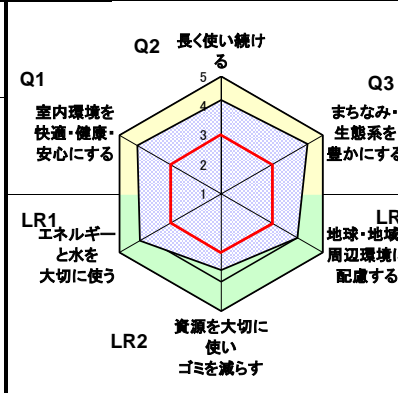


戸建標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

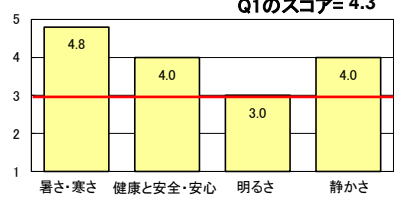
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 4.3

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

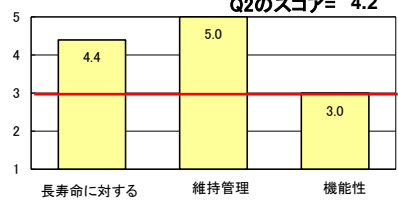
Q1のスコア= 4.3



暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ

Q2 長く使い続ける

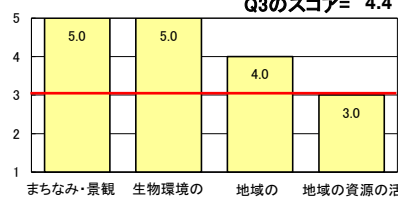
Q2のスコア= 4.2



長寿命に対する 維持管理 機能性

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア= 4.4



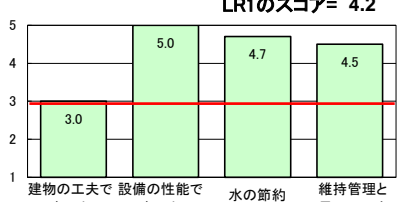
まちなみ・景観 生物環境の 地域の 地域の資源の活用

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.9

LR1 エネルギーと水を大切に使う

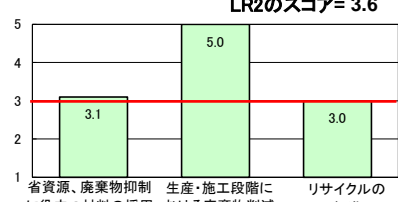
LR1のスコア= 4.2



建物の工夫で設備の性能で省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

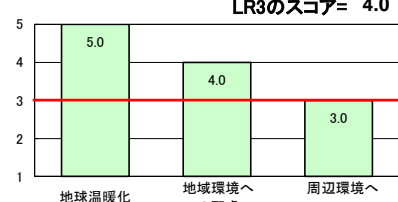
LR2のスコア= 3.6



省資源、廃棄物抑制 生産・施工段階に役立つ材料の採用 廃棄物削減 リサイクルの促進

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア= 4.0



地球温暖化 地域環境への配慮 周辺環境への

| 3 設計上の配慮事項 | |
|---------------------|--|
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光による発電と断熱性能の強化等によりネットゼロエネルギー化を図っています。 |
| その他 | |
| Q1 室内環境を快適・健康・安心にする | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー地域区分はIV地域ですが、III地域対応の断熱仕様としています。 ・卓越風向を考慮した窓の設計を行っています。 |
| Q2 長く使い続ける | <ul style="list-style-type: none"> ・劣化対策、耐震、維持管理対策などの各項目で品確法上の最高等級としています。 |
| Q3 まちなみ・生態系を豊かにする | <ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域の植生調査を行い、調査に基づいて植栽樹種の選定を行っています。 ・緑化率や舗装率に配慮しています。 |
| LR1 エネルギーと水を大切に使う | <ul style="list-style-type: none"> ・IV地域ですが、III地域対応の断熱仕様としています。 ・エアコンの能力選定をシステム化しています。 ・給湯はヒートポンプ式、照明器具はレゾフド用を除きLED、太陽光発電を採用。 |
| LR2 資源を大切に使いゴミを減らす | <ul style="list-style-type: none"> ・構造躯体を工場生産によりプレハブ化し、施工現場での廃材発生等を抑制しています。 ・施工現場で発生する廃材や余剰材を回収、再利用する仕組みを導入しています。 |
| LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する | <ul style="list-style-type: none"> ・雨水の地下浸透や地域自生種による植栽を行っています。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)



| | | | | |
|------------------|------|----------------|--------------------|--------|
| 1. 建物概要 | 建物名称 | (仮称)晴美台2号地 | 晴美台小学校跡地に建設する住宅の一つ | |
| | 建設地 | 堺市南区晴美台1丁38番32 | 敷地面積 | 187.5㎡ |
| 建築面積/延べ面積/指定建ぺい率 | | 65.6㎡ / | 117.1㎡ / | 60.0% |

2. 重点項目への取組み

| 重点項目 | 評価点 | 取組み度 |
|--------------------|-----|------|
| CO ₂ 削減 | 5 | |
| 省エネ対策 | 5 | |
| みどり・ヒートアイランド対策 | 5 | |
| 安全快適な暮らし | 4 | |

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

| CO ₂ 削減 | 評価項目 | | スコア | 評価点 | |
|--|---|--------------------------------------|-----|-----|-----|
| 地球温暖化への配慮 | CASBEE戸建(新築) 「LRH3-1」のスコアによる評価値 | CO ₂ に関する部分 の評価 | 5.0 | 5 | |
| 省エネ対策 | 評価項目 | | スコア | 合計値 | 評価点 |
| 建物の断熱性による評価 CASBEE戸建(新築) 「LRH1-1 1.1」による評価 | 日本住宅性能表示基準 「5-1 省エネルギー対策等級」 | 等級4 | 4 | 5 | 5 |
| 設備の省エネルギー性による評価 | 高効率給湯器等の設置の有無 | 設置 | 1 | | |
| みどり・ヒートアイランド対策 | 評価項目 | | スコア | 合計値 | 評価点 |
| 緑地内の緑化 CASBEE戸建(新築) 「QH3-2 2.1」による評価 | 緑地内の緑化を外構面積に対する 緑化面積の比率で評価する。 | 緑化面積の比率 118% | 5 | 6 | 5 |
| 地表面被覆材に配慮し敷地外への 熱的な影響を低減する。 (①または②に取り組んでいること) CASBEE戸建(新築) 「LRH3-3 3.2」による評価 | ①敷地面積に対する舗装面積率 20% 未満 ②敷地面積に対する日射反射面積率 10% 以上 | ①舗装面積率 13% ②日射反射面積率 0% | 1 | | |
| 建築外装材料等に配慮し、敷地外 への熱的な影響を低減する。 (①または②に取り組んでいること) CASBEE戸建(新築) 「LRH3-3 3.2」による評価 | ①屋根面積に対する屋根緑化面積率 + 日射反射率又は長波放射率の 高い屋根材の面積率 20%以上 ②外壁面積に対する壁面緑化面積率 10% 以上 | ①対策を施した面積率 0% ②対策を施した面積率 0% | 0 | | |
| 安全快適な暮らし | 評価項目 | | スコア | 合計値 | 評価点 |
| バリアフリー対応による評価 CASBEE戸建(新築) 「QH2-3 3.2」による評価 | 日本住宅性能表示基準 「9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)」 | 等級1 | 1 | 6 | 4 |
| 自然災害に耐えることによる評価 CASBEE戸建(新築) 「QH2-1 1.4」による評価 | 日本住宅性能表示基準 「1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)」 | 等級3 | 3 | | |
| 地域の安全・安心への対応による 評価 CASBEE戸建(新築) 「QH3-3」による評価 | 【評価する取組み】 (CASBEE戸建-新築マニュアル参照) ①敷地内の避難ルート・消火活動空間の確保 ②防火性の高い植物の植樹 ③地域の避難路の確保 ④見通しの確保 ⑤自住户や隣接住戸に侵入する足掛かりを 作らない配慮 ⑥その他の取組み | | 2つ | 2 | |

4. その他

| 技術の名称 | 考慮事項 |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 太陽光発電、蓄電池、HEMS、EVコンセントの導入 | 再生可能エネルギーの有効活用と見える化による省エネ行動の促進など。 |

特に配慮した事項

- ・『晴美台エコモデルタウン創出事業』の趣旨にのっとり、ネットゼロエネルギーハウスとして計画しています。
- ・当社独自の提案として蓄電池、HEMS等の先進技術の導入を図っています。